

BlueMeme (TYO: 4069)

一見低調に見える1Q実績だが、中期経営計画に向けて着実に前進

◇ 2025年3月期第1四半期決算ハイライト

BlueMeme（以下、同社）が2024年8月14日に発表した2025年3月期第1四半期決算は、売上高5.1億円（前年同期比15%減）、営業損失0.4億円、経常損失0.4億円、親会社株主に帰属する四半期純利益0.4億円となった。なお、前年同期はいずれの利益も黒字であった。また、KPIである期末受注残は4.9億円（同7%減）、プロフォーマEBITDAは0.1億円（同86%減）であり、いずれも厳しい数値となった。

今期は、今後の成長の鍵を握るデジタルレイバーの開発など投資・経費が先行する期であり、当四半期においても人材関連費用、および事業開発関連の費用を計画通りに消化している。これに加えて売上高が減少したことが利益の低下をもたらしている。

売上高の低下の要因は、第一にOutsystemsライセンス価格の見直し（値上げ）を受けて前年度に駆け込み需要があり足元ではその反動が出ていること、第二に商談の大型化により受注に至るまでのリードタイムが長くなり、売上高への寄与も後ろ倒しになっていることが指摘できる。

このように厳しい数値ではあるものの、同社が推進するローコード型アジャイル手法に対する潜在需要に翳りが出たり、競争が厳しくなっていると考える必要は低そうだ。先ほど述べた商談の大型化は同社のサービスへの期待を反映していると見なせる。

◇ デジタルレイバーを実案件に導入開始

2024年8月13日の同社リリースによれば、デジタルレイバーを実案件に導入し開発期間の大幅な短縮を実証したとのことである。詳細は得られていないが、ローコード開発において相応の自動生成が商業ベースで可能になりつつあることを示しており、デジタルレイバーの開発が順調に進捗していると考えられる。

◇ 通期業績予想

同社は2Qに関する業績予想を開示していない。通期業績予想は据え置かれ、売上高31億円（同23%増）、営業利益2.5億円（同1%減）、経常利益2.5億円（同1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益2.0億円（同14%増）である。なお配当に関しても通期無配の予想が据え置かれている。

◇ 株価動向と今後の注目点

同社の株価は2024年5月以降、1200円近辺で横ばいだったが、8月の株式市場全体の急落にあわせて同社の株価も855円まで下落した。その後市場全体の回復にあわせて同社株価も回復し、1Q決算発表自体は株価には大きな影響をもたらさなかった。しかし、直近の株価は7月までに推移していた1200円台に戻りきれず、1000円台で推移している。

2024年8月20日には、最大10万株、金額上限1億円の自己株式取得も決定されている。ただし、より本質的に株価を動かすポイントは次のとおりである。

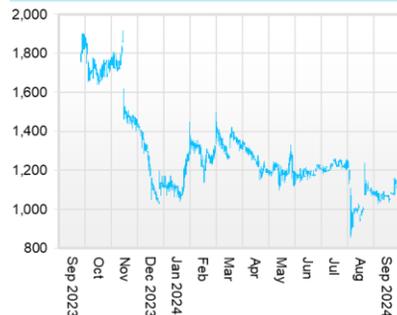
1Q決算アップデート

情報テクノロジー

2024年9月30日

株価(9/27)	1,080円
52週高値/安値	855/1,917円
1日出来高(3ヶ月)	3.9千株
時価総額	38億円
企業価値	16億円
PER(25/3会社予想)	18.5倍
PBR(24/3実)	1.5倍
予想配当利回り(25/3)	-%
ROE(24/3)	6.6%
営業利益率(24/3)	10.1%
ベータ(5年間)	0.2
発行済株式数	3.58百万株
上場市場	東証グロース

株価パフォーマンス



%	1M%	3M%	12M%
Share price	-2.70	-11.84	-39.05
Japan TSE TOPIX	2.99	-2.21	15.56

注目点

第一に、通期計画に対する進捗率（特に受注、受注残）が2Q以降改善するか。第二に、デジタルレイバーの開発の前進、および実案件での成果の積み上がり。

当レポート(Company note)は、BlueMemeの依頼を受けて作成しております。詳しくは、最終ページのディスクレームを参照ください。



第一に、通期計画に対する進捗率が2Q以降改善するか。特に受注が注目であり、大型化する商談が成約すれば受注、受注残の大幅な増加につながり、プロフォーマEBITDA拡大につながる。

第二に、デジタルレイバーの開発の進捗。現在の開発段階はローコードエンジニア主体の開発の自動化を進める段階であり、実案件での効果検証が積み上がることが期待される。さらに、デジタルレイバー開発はシステム開発のより上流にあたるビジネスアーキテクトに関するものへと移行する予定であり、その進捗と成果のゆくえが注目される。

会社概要

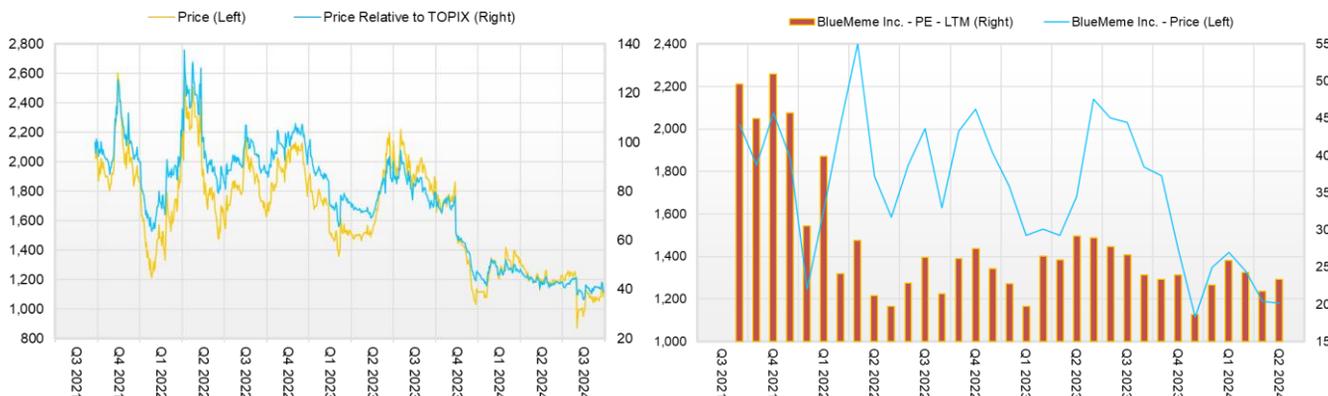
株式会社BlueMeme（以下、同社）は、「ローコード型アジャイル手法」開発の日本の草分け。2006年の創業後、OutSystems社のローコード技術を本邦ではじめて導入し、これを軸にシステム開発サービスの提供を進めてきた。同社は「デジタルレイバー」という独自の自動化コンセプトを推し進めるため、積極的な投資を行っている。この取り組みは、日本のIT人材の不足と偏在という課題を克服し大企業のみならず中小企業のDXに対する取り組みを加速させると同時に、同社自身の生産性も改善させることが期待されている。このため、デジタルレイバー技術の開発が回収フェーズに移行する段階では、その収益が飛躍的に拡大するものと期待される。

主要財務データ

単位: 百万円	2019/3	2020/3	2021/3	2023/3	2024/3	2025/3 会社予想
売上高	1,800	2,102	1,942	2,289	2,507	3,100
EBIT (営業利益)	32	175	375	358	256	250
税引前収益	31	174	355	343	252	250
親会社株主帰属利益	11	130	259	260	175	200
現金・預金	584	645	2,356	2,225	2,229	
総資産	1,273	1,395	3,351	3,556	3,734	
債務合計	5	5	5	5	5	
純有利子負債	-2,223	-2,223	-2,223	-2,223	-2,223	
負債総額	914	871	953	896	1,125	
株主資本	2,609	2,609	2,609	2,609	2,609	
営業活動によるキャッシュフロー	175	183	338	95	252	
設備投資額	69	69	69	69	69	
投資活動によるキャッシュフロー	-13	-21	-10	-47	-107	
財務活動によるキャッシュフロー	60	-100	1,382	-179	-142	
フリーキャッシュフロー	184	184	184	184	184	
ROA (%)	0.92	9.76	10.92	7.52	4.80	
ROE (%)	2.99	29.51	17.73	10.27	6.64	
EPS (円)	3.3	40.7	80.3	74.0	50.5	
BPS (円)	112.1	163.7	701.4	750.5	762.9	
一株当り配当(円)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
発行済み株式数(百万株)	3.20	3.20	3.41	3.52	3.56	

出所：同社資料よりOmega Investment 作成、小数点以下四捨五入

株価推移





四半期トピックス

同社の目指す業界ポジション

事業概要 bluememe

IT業界におけるポジショニング

- アジャイル手法とローコードを用いることで、リスクの高い大規模なシステムにおいても「高品質なシステム」の開発を実現
- 業務を分析した後に「コスト最適化構造設計」を行うことで、システム開発と運用のコストの削減を実現

	システム規模	開発手法	業務分析 業務設計	コスト最適化 構造設計	システム 要件定義	設計・製造 テスト	運用・保守
総合コンサル	中～大	ウォーターフォール	サービスを提供	×	サービスを提供		×
大手システム インテグレーター			サービスを提供	×	サービスを提供		
bluememe		ローコード型 アジャイル手法	ワンストップで システム開発に関するサービスを提供			内製化を 支援	
エンジニア派遣 システム開発会社	小～中	ウォーターフォール及び 従来型アジャイル手法	×	×	サービスを提供		

© BlueMeme Group 13

出所：同社資料より Omega Investment 作成

同社が顧客に提供する価値：顧客内製化チームによる低コストかつアジャイルなシステム開発・運用

事業の特徴と優位性 bluememe

BlueMemeのコスト：ローコードを最大限に活用して開発コストを抑制

- BlueMemeが独自に開発したローコード型アジャイル手法を活用することで開発生産性を2倍以上に高めることが可能
- ローコードは「プログラミングの自動化」を実現できるため、システム開発に必要な技術者の数を大幅に削減

ローコードによって必要な技術者の数を削減可能

独自のローコード型アジャイル手法を活用することで
生産性を2倍に 品質向上で試験工数を半分に

© BlueMeme Group 18

出所：同社資料より Omega Investment 作成



四半期トピックス

同社が顧客に提供する価値：顧客内製化チームによる低コストかつアジャイルなシステム開発・運用（続き）

事業の特徴と優位性 bluememe

BlueMemeの対応力：企業内に内製化チームを構築することで迅速な対応

- 不具合の修正や新規機能追加を迅速に行うには、システム開発を社内で実施できる内製化チームの構築が必須
- BlueMemeの開発サービスにおいて業務システムの開発ノウハウを提供することで「内製化チーム」の構築を支援

従来型のシステム開発の場合
開発を委託する業者とのやり取りが長期化しやすい

やり取りの長期化

BlueMemeの開発サービスで内製化チームを構築した場合
手間のかかる契約処理を行うことなく迅速な対応が可能

© BlueMeme Group 19

出所：同社資料より Omega Investment 作成

同社の競争優位

事業の特徴と優位性 bluememe

ローコード開発市場の参入障壁

- BlueMemeはOutSystemsと呼ばれるローコード技術を日本国内で初めて導入し、大規模システム向けのローコード市場をけん引
- ローコード型アジャイル手法は、一般的なアジャイル手法では難しい大規模システムの開発やシステム開発の内製化を実現

国内におけるOutSystems正規代理店の実績

会社名	実績年数
bluememe	12年
A社	6
B社	5
C社	5
D社	4
E社	4
F社	3

アジアにおいてNo.1の技術力とノウハウを保有

BlueMeme独自のローコード型アジャイル手法

開発の内製化

AGILE-DX
ローコード型アジャイル手法

大規模な開発の実現

ムダな投資の抑制

一般的なアジャイル手法は大規模な開発が難しい

お客様にノウハウを提供することで内製化チームを構築

ローコードに特化した手法で生産性を最大化

© BlueMeme Group 20

出所：同社資料より Omega Investment 作成



四半期トピックス

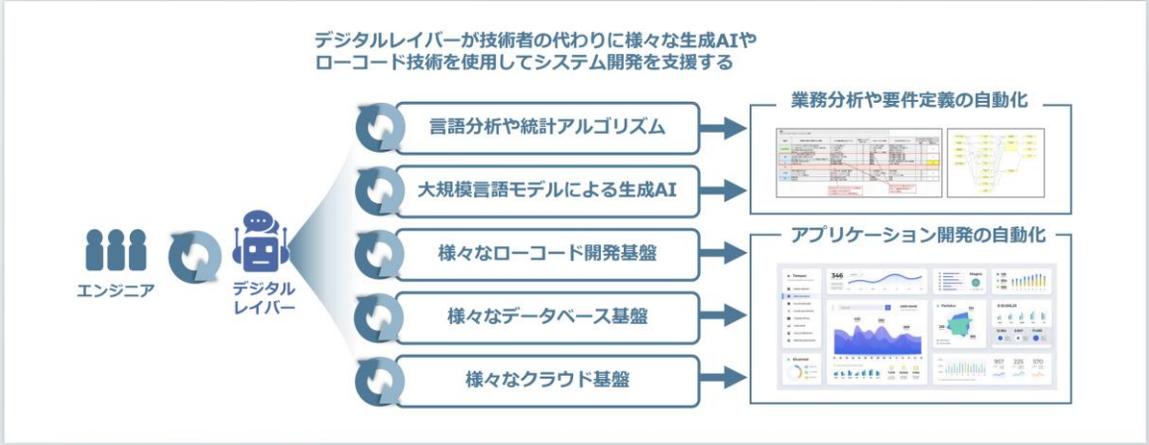
デジタルレイバーとは

Appendix

bluememe

デジタルレイバーは技術者とAIやローコードの仲介役

- BlueMemeのデジタルレイバーは技術者が生成AIやローコードを効率よく使うためのもの
- 技術者がAIやローコード技術を稼働ための学習コストを削減しつつ、システム開発の生産性を向上させることを目的とする



© BlueMeme Group

31

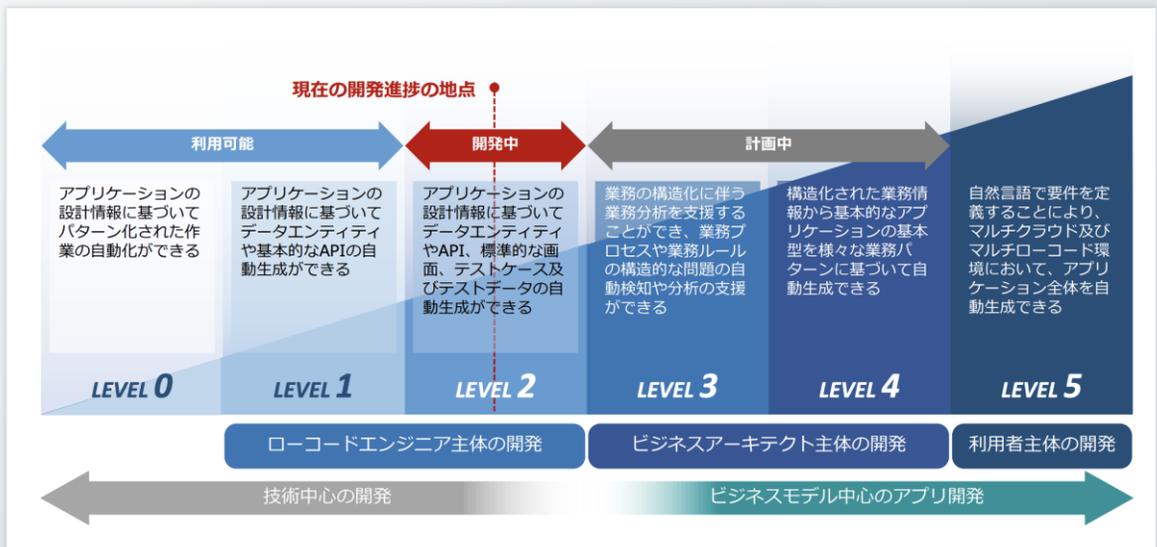
出所：同社資料より Omega Investment 作成

デジタルレイバーの開発ステージ

Appendix

bluememe

デジタルレイバーの開発ステージ



© BlueMeme Group

32

出所：同社資料より Omega Investment 作成



四半期トピックス

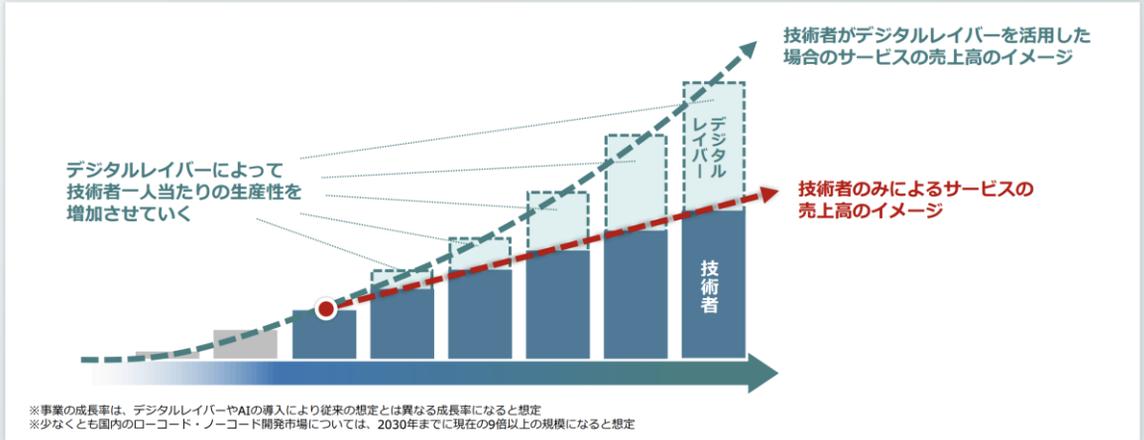
デジタルレイバーと会社の生産性改善の見通し

Appendix

bluememe

デジタルレイバーによって売上拡大に必要な人材を削減可能

- 開発サービスの売上を向上させるためには「技術者の数」と「技術者一人当たりの生産性」を増やすことが必要
- デジタルレイバーによって「技術者一人当たりの生産性」を倍増させることで売上拡大を狙う



© BlueMeme Group

30

出所：同社資料より Omega Investment 作成

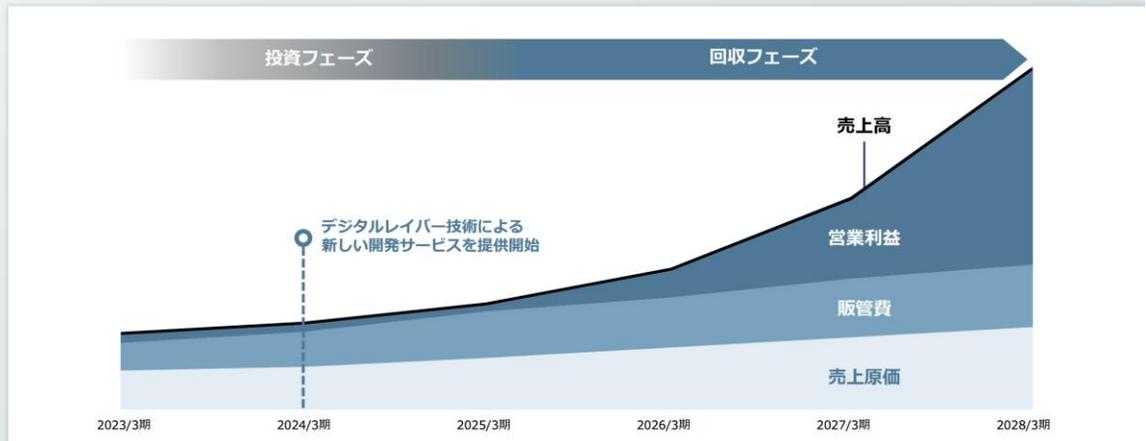
デジタルレイバーと会社の収益構造の見通し

事業の特徴と優位性

bluememe

収益構造のイメージ

- 当面は投資フェーズと位置づけ、システム開発に必要なエンジニアを更に削減できる「デジタルレイバー技術」の開発を推進
- 回収フェーズではデジタルレイバー技術の効果で原価の伸びが抑制し、パートナーシップによる間接販売の増加で売上高が拡大



© BlueMeme Group

21

出所：同社資料より Omega Investment 作成

財務データ | (四半期ベース)

単位: 百万円	2023/3期				2024/3期				2025/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
[損益計算書]									
売上高	517	586	551	634	614	595	593	705	517
前年同期比	23.4%	25.5%	0.4%	25.2%	18.6%	1.4%	7.6%	11.1%	-15.8%
売上原価	253	285	290	301	297	302	308	334	267
売上総利益	264	301	261	334	316	292	286	371	250
粗利率	51.1%	51.4%	47.4%	52.6%	51.5%	49.2%	48.1%	52.7%	48.4%
販管費	203	194	206	198	236	256	252	266	292
EBIT (営業利益)	61	107	55	135	80	37	33	105	-42
前年同期比	-8.0%	6.1%	-62.2%	115.6%	31.9%	-65.6%	-39.3%	-22.1%	-151.9%
EBITマージン	11.8%	18.3%	10.0%	21.4%	13.1%	6.2%	5.6%	15.0%	-8.1%
EBITDA	66	112	60	141	84	41	38	112	-36
税引前収益	56	105	58	123	79	36	32	106	-47
当期利益	37	71	38	115	45	13	20	97	-50
少数株主損益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
親会社株主帰属利益	37	71	38	115	45	13	20	97	-50
前年同期比	-1.6%	5.1%	-62.0%	106.2%	23.9%	-81.7%	-47.2%	-15.8%	-209.5%
利益率	7.1%	12.0%	6.8%	18.1%	7.4%	2.2%	3.4%	13.7%	-9.6%
[貸借対照表]									
現金・預金	2,267	2,392	2,377	2,225	2,194	2,191	2,070	2,229	2,047
総資産	3,253	3,383	3,348	3,556	3,440	3,366	3,294	3,734	3,297
債務合計	94	69	45	5	23	27	22	5	NA
純有利子負債	-2,173	-2,323	-2,332	-2,220	-2,171	-2,164	-2,048	-2,223	NA
負債総額	809	866	792	896	847	825	735	1,125	734
株主資本	2,444	2,516	2,556	2,660	2,594	2,541	2,559	2,609	2,563
[収益率 %]									
ROA	8.83	8.19	6.06	7.52	8.02	6.25	5.81	4.80	2.37
ROE	12.09	11.02	8.19	10.27	10.66	8.33	7.55	6.64	3.10
[一株当り指標: 円]									
EPS	10.5	20.2	10.7	32.4	12.9	3.7	5.8	28.3	-14.5
BPS	699.1	717.2	725.2	750.5	745.6	736.3	741.6	762.9	747.3
一株当り配当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
発行済み株式数 (百万株)	3.49	3.51	3.52	3.55	3.56	3.56	3.56	3.56	3.58

出所：同社資料より Omega Investment 作成

財務データ II (通期ベース)

単位: 百万円	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
[損益計算書]					
売上高	1,800	2,102	1,942	2,289	2,507
前年同期比	20.3%	16.8%	-7.6%	17.9%	9.5%
売上原価	1,276	1,411	878	1,129	1,241
売上総利益	525	691	1,064	1,160	1,266
粗利率	29.1%	32.9%	54.8%	50.7%	50.5%
販管費	493	516	689	802	1,010
EBIT (営業利益)	32	175	375	358	256
前年同期比	-63.2%	448.8%	114.0%	-4.5%	-28.5%
EBITマージン	1.8%	8.3%	19.3%	15.6%	10.2%
EBITDA	47	193	395	378	274
税引前収益	31	174	355	343	252
当期利益	11	130	259	260	175
少数株主損益	0	0	0	0	0
親会社株主帰属利益	11	130	259	260	175
前年同期比	-82.7%	1133.6%	98.9%	0.3%	-32.7%
利益率	0.6%	6.2%	13.3%	11.3%	7.0%
[貸借対照表]					
現金・預金	584	645	2,356	2,225	2,229
総資産	1,273	1,395	3,351	3,556	3,734
債務合計	347	212	101	5	5
純有利子負債	-237	-433	-2,256	-2,220	-2,223
負債総額	914	871	953	896	1,125
株主資本	359	524	2,398	2,660	2,609
[キャッシュフロー計算書]					
営業活動によるキャッシュフロー	175	183	338	95	252
設備投資額	9	21	9	4	69
投資活動によるキャッシュフロー	-13	-21	-10	-47	-107
財務活動によるキャッシュフロー	60	-100	1,382	-179	-142
フリーキャッシュフロー	173	180	330	91	184
[収益率 %]					
ROA	0.92	9.76	10.92	7.52	4.80
ROE	2.99	29.51	17.73	10.27	6.64
当期利益率	0.59	6.20	13.34	11.34	6.98
資産回転率	1.57	1.58	0.82	0.66	0.69
財務レバレッジ	3.24	3.02	1.62	1.37	1.38
[一株当り指標: 円]					
EPS	3.3	40.7	80.3	74.0	50.5
BPS	112.1	163.7	701.4	750.5	762.9
一株当り配当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
発行済み株式数(百万株)	3.20	3.20	3.41	3.52	3.56

出所：同社資料より Omega Investment 作成



General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したのですが、その内容及びデータの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみを目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメントは、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントの Recherche によるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。